

## 「ステイ・ホーム」の日常

吾も紅の面々は、縁側で猫を見たり、おやつ作りをしたり、キノコを栽培してみたり、囲碁を打ったり、バラ風呂を楽しんだり、マスクを手縫いしたり…と穏やかな「自粛生活」を過ごしています。

が、頃は5月。五月晴れの天気の中、近所へのお散歩はいいだろうと毎日外へ。マスクを付けられる方はつけて出かけました。

空高く舞う鯉のぼりを見たり、色づいたサクランボの実やサツキの花、藤の花をめでたりしながら外の風にあたります。

「綺麗ねえ」

重度の認知症の方の口からも、花への賛辞はこぼれます。

「チュンチュン、だって」

小鳥のさえずりにも耳を澄ませます。

第二ももの家に戻る人を送っていったついでには、外にあったほうきで庭を掃除する姿もありました。

吾も紅の猫の額ほどの畑には、キュウリやトマトを利用者さんと植えました。吾も紅では、作るのも一緒、食べるのも一緒、片付けるのも一緒です。みんなで喜びを分け合っています。

自給自足の生活が今後は主流になってくるかもしれません。コロナ禍にくじけるのではなく、これを機に新たな一步を踏み出したいと思います。

